

小曾木地区の自治会状況、大雪で感じる共助の重要性

1. 小曾木5丁目自治会が第6支会を休会へ

小曾木地区の地域の人口減少と少子高齢化による若年層減少の影響などにより自治会組織運営が従来の形では成り立たなくなってきました。富岡市営団地で構成していた富岡3丁目第2自治会は一昨年に自治会解散。昨年は、富岡3丁目第1自治会と黒沢1丁目第2自治会が自治会運営は継続しながらも第6支会は休会。今年は、残念ながら小曾木5丁目自治会が同様に第6支会休会へと動いています。

第6支会でも、第6支会を休会している地域の自治会長と話し合いの場を設けて改善案の検討を行っています。青梅市でも、自治会加入促進や退会防止について、それぞれ委員会を設けて改善案を検討しているところです。

第6支会は、小曾木地区全域の運営・行事の実施・防災や災害時の地域連携の促進、また、青梅市行政との円滑な情報連絡など安心・安全な暮らしに大きな役割を果たしています。そのための負担が大きくなり感じられるのも、休会の一因となっています。

2. 2月の大雪で感じる共助の重要性

2月8日、14日の2度にわたる例年になく大雪。自家用車も動かせなくなり、駅から自宅まで、職場から自宅まで歩いた方も多数いました。また、雪かきでは、住民の力を合わせると早期に進みますが、高齢の方や体調の悪い方は、やりたくても動けない苦しさもあります。それぞれに同じ地域の仲間として気持ちの配慮を持って、できる人はできる事をその時に自ら動いて行うことが大切で、共助の原点と感じます。



今回の大雪も公助の枠を超えた災害。「自助・共助・公助」の共助が問われます。日頃からの、地域の共助の精神を養う場の減少、共助で得られる清々しさの体験不足、感謝を表す言葉の不足等、現代社会に不足している部分に気付けた大雪だった気がします。

地域行事の紹介

◎ 小曾木っ子お餅つき大会

- ・主催：小曾木っ子の会・子ども劇場西多摩風の子サークル
- ・会場：第七小学校校庭
- ・日時：3月15日（土）10時集合～12時
- ・参加費：300円（小学生以上）

毎年開催しているお餅つき。なかなか自宅ではできないものですが、子ども達と一緒に楽しんでみませんか。今年は、横田基地の仲間も数名参加が予定され、国際色あるつながりの輪が広がりそうです。参加希望の方は、直接、集合時間に会場へお越しください。

◎ 防災講演会「立川断層と地震の被害」

- ・主催：小曾木地区自主防災組織連絡会
- ・会場：小曾木市民センター会議室
- ・日時：3月18日（火）19時30分～
- ・講師：角田清美氏（専修大学講師）

春の防災訓練は、今年は震災に備えた講演会となりました。参加希望者は、直接、会場へお越しください。

◎ おそき一斉メールに登録を

地域情報を週1回程度、また、緊急時に地域情報を登録された方に無料でメール配信しています。

下記アドレスに空メールを送ると登録できます。

osokinogakkou@gmail.com

◎ ブログで地域情報の発信をしています。

「おそきだより」よりも詳細で早い情報の発信となっています。[おそきの学校](#)で検索できます。

◎ おそきだよりへの記事、行事、写真等の紹介をお願いいたします

ご連絡はおそき一斉メールアドレスへメール、または、小曾木市民センターへお願い致します。



1面表題脇のメジロの写真

今年度は4回に亘り、富岡1丁目の乙黒地区に見られる野鳥にカメラを向け、多数の写真展に入賞されている富岡1丁目在住の山崎弘さんご提供の「乙黒地区野鳥の四季シリーズ」を掲載しています。

編集後記

みなさん、こんにちは。会が発足して4年が経過します。

発足当初は、年々減少する児童数に対し、今後の学校のあり方について意見を出すことから始まり、その後、学校だけでなく、子供会や自治会等の各種団体についても過疎による様々な問題を抱えていることから、学校から地域へと間口を広げ、現在に至ります。

昨年あたりから、イベントでのバス送迎や講演会など、また、この「おそきだより」の発行と徐々にではありますが、この会が、一つの形として本格的に活動ができ始めたのではないかと感じています。

今後は、小曾木地区だけでなく、他の地域への情報発信やイベント的なモノを増やして活動していけるように、様々なアイデアを検討しています。

また、是非、地域の方々も小曾木地区の「イトコロ」の情報を会に寄せていただければと思います。

(並木政人)